

平成20年度大牟田市自然環境調査報告書

甘木山調査



旧いこいの広場から有明海を望む

平成21年3月

大牟田市自然環境調査研究会
大牟田市環境部環境保全課

はじめに

自然環境は、人間を含むすべての生物にとって、最も重要な生存基盤を構成する環境要素であり、多様な生態系を維持し豊かな自然環境を地域の財産として、次世代へ引き継いでいくことが大切です。

本市では、平成14年度より「大牟田市環境基本計画」を施行し、自然環境の保全を重要な課題の一つと位置づけ、快適環境都市を目指して諸事業を推進しています。自然環境調査は、本市の自然環境の現状や貴重な動植物等の生息状況を調査し、自然環境保全の基礎資料とするとともに、市民の啓発に資するために行っています。

平成20年度は、甘木山の調査を実施しましたので報告します。

目 次

1	調査の目的	1
2	調査の概要	1
3	甘木山の概要	2
4	現地調査	
(1)	春季調査	3
	植 物	鳥 類
	昆虫類・クモ類	春の調査ルート図
	爬虫類・両生類	
(2)	秋季調査	14
	植 物	水生動物・陸産貝類
	昆虫類・クモ類・甲殻類	地形・地質
	爬虫類・両生類	秋の調査ルート図
	鳥 類	
5	まとめ	26

1 調査の目的

甘木山は、市の北部の丘陵地に位置し、市内で唯一の県立自然公園区域が含まれており、緑豊かな自然が残されている。その中で、甘木山南部は、サギ類の営巣地や国及び県のレッドデータブックで絶滅危惧種に指定されているカスミサンショウウオが生息している。また、大牟田北高校周辺では、他ではあまり見ることができないシンジュガヤ、ネジバナ、コハナヤスリ等を見ることができ、植物生育環境も注目すべき地点がある。このような観点から、今回、甘木山の植物、昆虫、両生類、鳥類などの生物調査及び地形・地質調査を行ったものである。

2 調査の概要

(1) 調査ルート

大牟田ハイツ 蔦ヶ浦第二堤 テニスコート 旧大牟田いこいの広場 大牟田北高校 甘木山学園 湯牟田堤 道米来第二堤 熊野神社 大牟田ハイツ

(調査ルート図参照)

(2) 調査日時

植物が花をつける時期、同定が行い易く、昆虫も多い春季及び秋季に実施。

春季調査：平成20年6月14日(土) 9時～15時 天候：曇り

秋季調査：平成20年9月28日(日) 9時～15時 天候：曇り

(3) 調査内容

植物、昆虫、鳥類、爬虫類・両生類等の生物調査及び地形・地質調査

(地形・地質調査は秋季調査で実施。)

補足調査は、各委員で行う。

(4) 調査員

・大牟田市自然環境調査研究会委員

専門分野	氏名	専門分野	氏名
生態系	白石 哲	鳥類	永江 和彦
地形・地質	古藤 文彦	爬虫類・両生類	松永 公幸
植生・植物	中島 健晴	昆虫類・水生生物	中嶋 秀利
哺乳類	尾形 健二	海産生物	嶺井 久勝

・調査協力：大牟田生物愛好会 黒岩展子、吉田日出子

・調査随員：環境保全課職員 怡土朝幸、奥園光彦

3 甘木山の概要

大牟田市の北部には、甘木山から黒崎にかけて丘陵地が形成され、緑豊かな自然が残されている。とりわけ甘木山からは、大牟田市街地および有明海が一望でき、遠くには雲仙、島原、普賢岳を望むことができる。また、有明海に沈む夕日や市内の夜景を見ることができる絶好の場所である。

この恵まれた自然を公園化しようという計画が立てられ、1940年11月から施設整備に着手し、1942年に甘木公園として開園した。この公園には、運動広場やブランコ、滑り台などがある遊戯広場および四阿(あずまや)などの休養施設があり、市内からだけでなく近隣の市町村からも休息やレクリエーションの場として利用されている。

周辺には古墳時代後期の古墳が点在し、石室をみることができる。また、園内には、アカマツや雑木の他、750本のさくらが植えられ、花見の時期には多くの人々が訪れる。1950年には矢部川県立自然公園に指定された。多くの動植物が生息し、福岡県の自然を代表するすぐれた自然の風景地を保護する区域として位置づけられている。
(大牟田の宝もの100選:2002年2月大牟田市役所主査・主任会編より抜粋)

ゴルフ場が造成される以前の甘木山は、食虫植物のモウセンゴケ、ミミカキグサなどの生育できる湿原環境や、スダジイ、タブ、クスなどの常緑広葉樹の大木やアカマツ林が目立っていたが、開発によって大半が失われてしまった。

しかし、甘木山周辺に点在する灌漑用に造られたため池周辺域や下流域に良好な湿生植物群を形成しており、水生生物の貴重な生息域である。水路際には、ゲンジボタル、ヘイケボタルが見られ、水辺環境を好むハグロトンボ、モノサシトンボ、オオヤマトンボ、アジアイトトンボなどのトンボ類、クロアゲハ、モンキアゲハ、ナガサキアゲハなどの大型のアゲハチョウの仲間や暖地性のクロセセリ、ヤナギ類を食草とするコムラサキをはじめ、ヒオドシチョウ、サツマシジミなどの珍しい仲間が確認される。

車道側周辺地域は、人為的に植栽されており、イネ科植物を主体とした草地、また、背丈の低い灌木域には、ヤブキリ、クツワムシ、ツユムシ、トノサマバッタ、ヒシバッタなどの直翅目類(ちよくしもくるい)バッタの仲間が見られ、わずかに残るマツ林では、近年個体数が減少しているハルゼミが4～5月にかけて鳴いているのが聞かれ、確認されている。

(大牟田市自然環境調査報告書:平成13年6月大牟田市編集・発行より抜粋)

4 現地調査

(1) 春季調査

植物

春季調査では、シダ植物16科43種、種子植物75科214種【裸子植物1科2種、被子植物74科212種（双子葉類63科155種、単子葉類11科57種）】の合計91科257種を確認（同定）した。

[記号]木：木本類¹ 帰：帰化植物² 逸：植栽逸出³

NO.1

科名	和名	記号	科名	和名	記号
シダ植物 16科 43種					
イワヒバ科	タチクラマゴケ		(オシダ科)	オオカナワラビ	
	コンテリクラマゴケ	帰		オクマワラビ	
トクサ科	スギナ			オニカナワラビ	
ハナヤスリ科	コヒロハハナヤスリ			オニヤブソテツ	
	オオハナワラビ			クマワラビ	
ゼンマイ科	ゼンマイ			ヤマヤブソテツ	
ウラジロ科	ウラジロ			ツクシイワヘゴ	
	コシダ			ナガバノイタチシダ	
フサシダ科	カニクサ			ハカタシダ	
コバノイシカグマ科	ワラビ			ベニシダ	
	イシカグマ		ヤブソテツ		
	イワヒメワラビ		コハシゴシダ		
	フモトシダ		ハシゴシダ		
ホングウシダ科	ホラシノブ		ヒメワラビ		
ホウライシダ科	ホウライシダ		ホシダ		
イノモトソウ科	イノモトソウ		ミゾシダ		
チャセンシダ科	トラノオシダ		イワデンタ科	イヌワラビ	
シシガシラ科	シシガシラ			シケシダ	
	オオカグマ			シケチシダ	
オシダ科	イノデ		ウラボシ科	ノキシノブ	
	イノデモドキ			マメヅタ	
	イワヘゴ				
種子植物 75科 214種					
裸子植物	(1科 2種)		(ブナ科)	シリブカガシ	木
マツ科	クロマツ	木	ニレ科	ムクノキ	木
	アカマツ	木		エノキ	木
被子植物	(74科 212種)		クワ科	イヌビワ	木
(1)双子葉類	(63科 155種)			ホソバイヌビワ	木
離弁花類	(41科 103種)		ボロボロノキ科	ボロボロノキ	木
ヤマモモ科	ヤマモモ	木	ビャクダン科	カナビキソウ	
ブナ科	ツブラジイ	木	タデ科	アレチギシギシ	帰
	アラカシ	木		ミゾソバ	
	クヌギ	木	ナデシコ科	ノミノツヅリ	
	コナラ	木		イヌコモチナデシコ	帰

科名	和名	記号	科名	和名	記号	
(ナデシコ科)	ウシハコベ	帰	(マメ科)	アレチヌスビトハギ	帰	
	シロバナマンテマ	帰		ヌスビトハギ		
ヒユ科	イノコヅチ			ヤハズソウ		
マツブサ科	サネカズラ	木	フウロソウ科	アメリカフウロ	帰	
クスノキ科	ヤブニッケイ	木	トウダイグサ科	ナンキンハゼ	木・逸	
	クスノキ	木		アカメガシワ	木	
	シロダモ	木		シナアブラギリ	木・逸	
メギ科	ナンテン	木		カンコノキ	木	
アケビ科	アケビ	木		トウダイグサ		
	ゴウアケビ	木		コニシキソウ	帰	
	ミツバアケビ	木	ユズリハ科	ヒメユズリハ	木	
	ムベ	木	ミカン科	イヌザンショウ	木	
ツツラフジ科	アオツツラフジ	木		カラスザンショウ	木	
ドクダミ科	ドクダミ		センダン科	センダン	木	
センリョウ科	センリョウ	木	ヒメハギ科	ヒメハギ		
ツバキ科	ハマヒサカキ	木・逸	ウルシ科	ヌルデ	木	
	ヒサカキ	木		ハゼノキ	木	
	ヤブツバキ	木		ヤマハゼ	木	
オトギリソウ科	コケオトギリ		モチノキ科	ナナミノキ	木	
	ヒメオトギリ			イヌツゲ	木	
アブラナ科	オランダガラシ	帰		クロガネモチ	木	
ベンケイソウ科	コモチマンネングサ			ニシキギ科	ツルウメモドキ	木
ユキノシタ科	ウツギ	木		マサキ	木	
トベラ科	トベラ	木	ブドウ科	ツタ	木	
バラ科	テリハノイバラ	木		ノブドウ	木	
	ナワシロイチゴ	木		エビヅル	木	
	ノイバラ	木	アオギリ科	アオギリ	木・帰	
	ピロードイチゴ	木	グミ科	ナワシログミ	木	
	ピワ	木・逸		アキグミ	木	
	ナガバモミジイチゴ	木	イイギリ科	クストイゲ	木	
	ヤマザクラ	木	アカバナ科	コマツヨイグサ	帰	
	カマツカ	木		メマツヨイグサ	帰	
	クサイチゴ	木	アリトウグサ科	アリトウグサ		
	シャリンバイ	木・逸	ウコギ科	カクレミノ	木	
	トキワサンザシ	木・逸		キツタ	木	
	マメ科	ナツフジ		木	タラノキ	木
		ニセアカシア		木・逸	ハリギリ	木
ネコハギ				ヤツデ	木	
ネムノキ		木		セリ科	セリ	
ハイメドハギ					オヤブジラミ	
フサアカシア		木・逸			マツバゼリ	帰
ミヤコグサ			チドメグサ			
メドハギ			ツボクサ			
ヤマハギ		木	合弁花類	(22科 52種)		

科名	和名	記号	科名	和名	記号	
ツツジ科	ネジキ	木	(キク科)	ヒメジョオン	帰	
	シャシャンボ	木		ヘラバヒメジョオン	帰	
ヤブコウジ科	ツルコウジ	木		ヤナギバヒメジョオン	帰	
	マンリョウ	木		セイタカアワダチソウ	帰	
	ヤブコウジ	木		ヨモギ		
サクラソウ科	オカトラノオ			ガンクビソウ		
	コナスビ			ムラサキニガナ		
カキノキ科	ヤマガキ	木		アキノノゲシ		
エゴノキ科	エゴノキ	木		チチコグサ		
ハイノキ科	ミズバイ	木		チチコグサモドキ	帰	
	クロキ	木		ウラジロチチコグサ	帰	
モクセイ科	トウネズミモチ	木・逸		(2) 単子葉類	(11 科 57 種)	
	ネズミモチ	木		ユリ科	ナルコユリ	
リンドウ科	リンドウ		ホウチャクソウ			
	福岡県絶滅危惧 類		ホトトギス			
キョウチクトウ科	テイカカズラ	木	ヤブラン			
	ケテイカカズラ	木	サルトリイバラ	木		
ガガイモ科	ロクオンソウ		ヤマノイモ科	ヤマノイモ		
	環境省絶滅危惧 類			ニガカシュウ		
	福岡県絶滅危惧 A 類		アヤマ科	オオニワゼキショウ	帰	
アカネ科	ガガイモ			ニワゼキショウ	帰	
	クチナシ	木	イグサ科	クサイ		
	アリドオシ	木		ツユクサ科	ツユクサ	
	ハクチョウゲ	木・逸	トキワツユクサ		帰	
	ヒメヨツバムグラ		イネ科	アオカモジグサ		
ヒルガオ科	コヒルガオ			アメリカスズメノヒエ	帰	
ムラサキ科	チシャノキ	木		イヌナギナタガヤ	帰	
クマツヅラ科	クサギ	木		イヌムギ	帰	
	アレチハナガサ	帰		オカメザサ	木	
シソ科	トウバナ			オニウシノケグサ	帰	
	ヤマハッカ			カモガヤ	帰	
ナス科	オオイヌホオズキ	帰		カモジグサ		
ゴマノハグサ科	マツバウンラン	帰		カラスムギ	帰	
ハエドクソウ科	ハエドクソウ			ギョウギシバ	帰	
	オオバコ科	オオバコ		クサヨシ		
スイカズラ科	ツボミオオバコ	帰		ササクサ		
	ハクサンボク	木		シナダレスズメガヤ	帰	
	キダチニンドウ	木		シマスズメノヒエ	帰	
キキョウ科	スイカズラ	木		ススキ		
	ヒナギキョウ			スズメノチャヒキ		
	キキョウソウ	帰		タチカモジグサ		
キク科	ヌマダイコン		タチスズメノヒエ	帰		
	ヒヨドリバナ		チガヤ			
	ベニバナボロギク	帰	チヂミザサ			

科名	和名	記号	科名	和名	記号
(イネ科)	ツクシズメノカタビラ		ヤシ科	シュロ	木
	トボシガラ		サトイモ科	ショウブ	
	ナガハグサ	帰	ガマ科	ガマ	
	ナギナタガヤ	帰	カヤツリグサ科	シンジュガヤ	
	ヌカボ			福岡県絶滅危惧 B類	
	ネザサ	木		タチスゲ	
	ネズミホソムギ			ナキリスゲ	
	ヒメコバンソウ	帰		ハマスゲ	
	ホソムギ	帰		ヒメモエギスゲ	
	マダケ	木		マスクサ	
	メダケ	木		ヤワラスゲ	
	メリケンカルカヤ	帰	ラン科	ネジバナ	
	モウソウチク	木・帰	合 計 91 科 257 種		
	ヨシ				

- 1 木：木 本 類 形成層が発達し木質化するもので、おおまかにいえば年輪を有するもの。但し、例外として竹の仲間やつる性のもので年輪が無く、形成層が無くとも木本とするもの。それに対して草本類は、形成層が無い、あるいはあまり発達せず木質化しないもの。
- 2 帰：帰化植物 人力によって、意識的にせよ、無意識的にせよ、一つの植物が本来の生息地から、そのものが自生しない新しい地域にもたらされて、野生化して繁殖し、その植物の歴史を知らなければその土地本来の自生種と一見区別のつかないようになっている。（小倉謙「植物の辞典 1968」より）
- 3 逸：植栽逸出 人為的に植栽されたものが、野生化して繁殖しているもの。

絶滅危惧 類	絶滅の危機に瀕している種 A……ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの B…… A類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
絶滅危惧 類	絶滅の危険が増大している種
準絶滅危惧	存在基盤が脆弱（弱い）な種で、生息条件の変化によっては、「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの （環境省レッドリストによる。福岡県レッドデータブック 2001 も同書に準拠）

和名：ロクオンソウ（別名：ヒゴジャクゼン）

環境省絶滅危惧 類、福岡県絶滅危惧 A 類

被子植物 双子葉類 合弁花類 ガガイモ科

茎は直立して高さは80～130cm。葉は楕円形で緑白色、裏面は更に粉白色。対生し無柄で、基部の葉には耳翼があって茎を抱いた形になる。上部葉腋より1個の総花序を出し、分枝して多くの花をつける。ため池の土手などに生える多年草で希少。周囲の植物が生育に影響を与えるので草刈りが必要。

和名：シンジュガヤ

福岡県絶滅危惧 B 類

被子植物 単子葉類 カヤツリグサ科

多年草で太くて硬い地下茎がある。稈は鋭い三角状。花序は1個で頂生。葉鞘には翼がある。果実は真珠に似て光沢がある。



シンジュガヤ

和名：リンドウ

福岡県絶滅危惧 類

被子植物 双子葉類 合弁花類 リンドウ科

茎は高さ20～100cm、直立または斜上する。葉は対生し、卵状披針形、長さ3～8cm。9～11月、茎頂および上部の葉腋に1個～多数の花をつける。開発行為、草原の遷移、園芸用採取などにより個体数が減少あるいは消滅。



リンドウ

昆虫類・クモ類

春季調査では、6目35科60種の昆虫類及び1目7科9種のクモ類を確認できた。

昆虫類

目科名	和名	目科名	和名
チョウ目	(12科 32種)	トンボ目	(5科 8種)
セセリチョウ科	イチモンジセセリ	イトトンボ科	アオモンイトトンボ
	キマダラセセリ	アオイトトンボ科	アオイトトンボ
	ダイミョウセセリ	カワトンボ科	ニシカワトンボ
アゲハチョウ科	アゲハチョウ	サナエトンボ科	ヤマサナエ
	アオスジアゲハ	トンボ科	コシアキトンボ
	キアゲハ		ハラビロトンボ
シロチョウ科	モンシロチョウ		シオカラトンボ
	キチョウ		オオシオカラトンボ
	スジグロシロチョウ	コウチュウ目	(4科 6種)
シジミチョウ科	ツバメシジミ	ハムシ科	クロウリハムシ
	ヤマトシジミ	コガネムシ科	アシナガコガネの一種
ウラギンシジミ科	ウラギンシジミ		アオハナムグリ
タテハチョウ科	アカタテハ	テントウムシ科	ナナホシテントウ
	ヒメアカタテハ		ナミテントウ
	ツマグロヒョウモン	カミキリモドキ科	カトウカミキリモドキ
	コムラサキ	カメムシ目	(5科 5種)
	福岡県絶滅危惧 類	ハゴロモ科	アオバハゴロモ
	コミスジ	サシガメ科	ヨコヅナサシガメ
	イシガキチョウ	マキバサシガメ科	ハネナガマキバサシガメ
	ゴマダラチョウ	カメムシ科	アオクサカメムシ
	キタテハ	ホソヘリカメムシ科	ホソヘリカメムシ
ジャノメチョウ科	サトキマダラヒカゲ	ハチ目	(3科 3種)
	クロヒカゲ	ミツバチ科	ニホンミツバチ
	ヒメジャノメ	コハナバチ科	トラマルハナバチ
シャクガ科	ウメエダシャク	アリ科	アメイロアリ
	ユウマダラエダシャク	ハエ目	(6科 6種)
ミノガ科	チャミノガ	ムシヒキアブ科	シオヤアブ
イラガ科	ヒロヘリアオイラガ	アシナガバエ科	マダラアシナガバエ
ドクガ科	チャドクガ	ヒラタアブ科	ホソヒラタアブ
	ドクガ	ハナアブ科	ハナアブ
ヤガ科	フクラスズメ	クロバエ科	キンバエ
	ハグルマトモエ	ショウジョウバエ科	ショウジョウバエ
	アケビコノハ	合計 6目 35科 60種	

クモ類

目科名	和名	目科名	和名
クモ目	(7科 9種)	アシナガグモ科	アシナガグモ
ジグモ科	ジグモ	タナグモ科	コクサグモ
ヒメグモ科	オオヒメグモ	ササグモ科	ササグモ
コガネグモ科	サツマノミダマシ	ハエトリグモ科	アオオビハエトリ
	ナガコガネグモ		
	ゴミグモ		
合計 1目 7科 9種			

和名：コムラサキ

福岡県絶滅危惧 類

チョウ目タテハチョウ科

前翅長は雄約 32 mm～雌約 37 mm。

暖地では普通、年 3 回、5～9 月に発生する。幼虫の食草は、ヤナギ科のヤナギ属、ヤマナラシ属。県内でごく普通に見られたが、1980 年代に急減。本種の生息地であるヤナギのある水辺環境が減少し、また、その樹液が成虫の餌となるクヌギ、コナラ類の伐採が衰亡の主要因と考えられる。



コムラサキ

爬虫類・両生類

春季調査では、爬虫類 2 目 2 科 2 種、両生類 1 目 1 科 2 種を確認した。

爬虫類

目科名	和名	目科名	和名
カメ目	(1 科 1 種)	有鱗目	(1 科 1 種)
ヌマガメ科	アカミミガメ	カナヘビ科	カナヘビ
合計 2 目 2 科 2 種			

両生類

目科名	和名	目科名	和名
カエル目	(2 科 2 種)	(アカガエル科)	ウシガエル
アカガエル科	アマガエル	合計 1 目 1 科 2 種	

鳥 類

春季調査では、5目12科15種を確認した。

また、甘木山学園北側では、営巣中のサギ類を確認した。

目科名	和名	目科名	和名
カイツリ目	(1目 1科 1種)	スズメ目	(1目 8科 8種)
カイツブリ科	カイツブリ	ツバメ科	ツバメ
コウノトリ目	(1目 1科 4種)	ヒヨドリ科	ヒヨドリ
サギ科	ゴイサギ	ウグイス科	ウグイス
	アマサギ	ヒタキ科	キビタキ 福岡県準絶滅危惧
	ダイサギ		
	アオサギ	メジロ科	メジロ
ハト目	(1目 1科 1種)	ホオジロ科	ホオジロ
ハト科	キジバト	ハタオリドリ科	スズメ
キツキ目	(1目 1科 1種)	カラス科	ハシブトガラス
キツキ科	コゲラ	合計 5目 12科 15種	

和名：キビタキ

福岡県準絶滅危惧

スズメ目 ヒタキ科

全長13.5cm。雄は上面が黒、眉斑・下面・腰は黄色。翼に白の斑点がある。雌は上面・脇はオリーブ褐色、脇から腹にかけて淡い色になり腹部は白に近い。福岡県には4月頃渡来し、よく通る声でさえずる。主に昆虫類を食べ、10月頃渡去する。

一般的な夏鳥として、主に丘陵地や山地の広葉樹林で見ることができるが、宅地や埋立処分場造成などによる樹林地の伐採のため、生息地そのものが減少している。また、渡りの個体数は、著しく減少しており、越冬地である東南アジアでの森林伐採などの環境悪化が大きく影響しているといわれている。



キビタキ

写真提供 瀬井俊和 氏



営巣するアオサギとダイサギ



営巣するダイサギ

春季調査前に、福岡県において、2回の甘木山の鳥類確認種調査が行われたものを、補足調査として取りまとめ、その結果を以下に示す。

【日 時】平成 20 年 5 月 21 日 (水) 9 時～11 時 13 時～15 時【天 気】晴れ

目科名	和名	目科名	和名
キジ目	(1 科 1 種)	エナガ科	エナガ
キジ科	コジュケイ	シジュウカラ科	シジュウカラ
ハト目	(1 科 1 種)	メジロ科	メジロ
ハト科	キジバト	ホオジロ科	ホオジロ
キツキ目	(1 科 1 種)	ハタオリドリ科	スズメ
キツキ科	コゲラ	ムクドリ科	ムクドリ
スズメ目	(10 科 10 種)	カラス科	ハシブトガラス
ツバメ科	ツバメ		カササギ
ヒヨドリ科	ヒヨドリ		ハシボソガラス
ウグイス科	ウグイス	チメドリ科	ソウシチョウ
ヒタキ科	キビタキ 福岡県準絶滅危惧	合計 4 目 15 科 17 種	

【日 時】平成 20 年 5 月 23 日 (金) 8 時～10 時 10 時～12 時【天 気】晴れ

目科名	和名	目科名	和名
キジ目	(1 科 1 種)	ヒタキ科	キビタキ
キジ科	コジュケイ		福岡県準絶滅危惧
ハト目	(1 科 1 種)	エナガ科	エナガ
ハト科	キジバト	シジュウカラ科	ヤマガラ
キツキ目	(1 科 1 種)		シジュウカラ
キツキ科	コゲラ		メジロ科
カッコウ目	(1 科 1 種)	ホオジロ科	ホオジロ
カッコウ科	ホトギス	アトリ科	カワラヒワ
スズメ目	(11 科 13 種)	ハタオリドリ科	スズメ
ツバメ科	ツバメ	カラス科	ハシボソガラス
ヒヨドリ科	ヒヨドリ		ハシブトガラス
ウグイス科	ウグイス	合計 5 目 15 科 17 種	

春季調査及び2回の補足調査を合わせると7目19科25種を確認した。

目科名	和名	目科名	和名
カイツリ目	(1科 1種)	ヒヨドリ科	ヒヨドリ
カイツブリ科	カイツブリ	チメドリ科	ソウシチョウ
コウノトリ目	(1科 4種)	ウグイス科	ウグイス
サギ科	ゴイサギ	ヒタキ科	キピタキ
	アマサギ		福岡県準絶滅危惧
	ダイサギ	エナガ科	エナガ
	アオサギ	シジュウカラ科	シジュウカラ
キジ目	(1科 1種)		ヤマガラ
キジ科	コジュケイ	メジロ科	メジロ
ハト目	(1科 1種)	ホオジロ科	ホオジロ
ハト科	キジバト	アトリ科	カワラヒワ
カッコウ目	(1科 1種)	ハタオリドリ科	スズメ
カッコウ科	ホトギス	ムクドリ科	ムクドリ
キツツキ目	(1科 1種)	カラス科	カササギ
キツツキ科	コゲラ		ハシブトガラス
スズメ目	(13科 16種)		ハシボソガラス
ツバメ科	ツバメ	合計 7目 19科 25種	

春の調査ルート図 (6月14日)



調査風景1



調査風景2



旧いこのの広場よりの観察



湯牟田堤



出発前打合わせ



シダ類の群生



湯牟田堤観察



サギ類の営巣



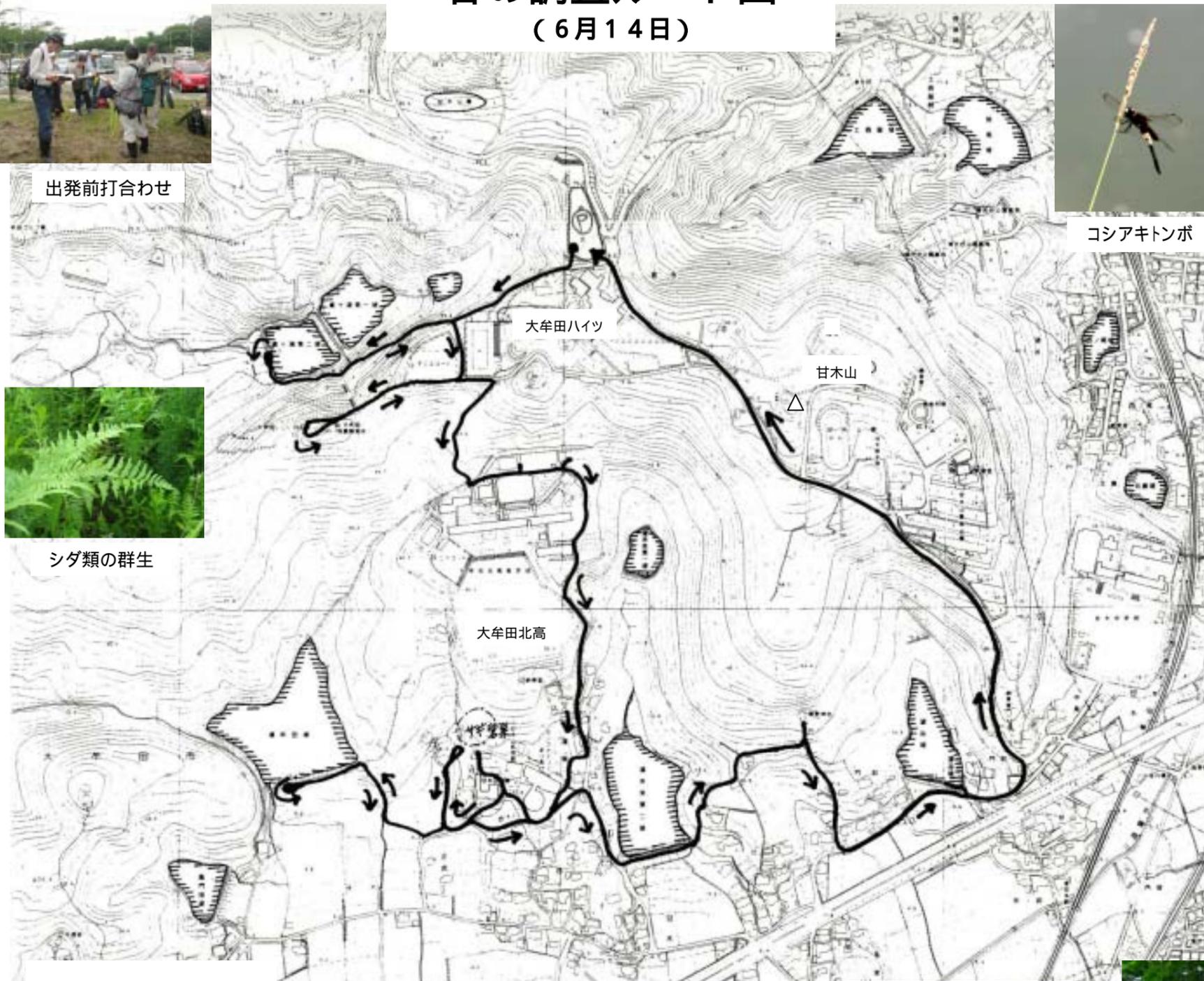
チシャノキ



クチナシ



アカメガシワ



コシアキトンボ



ヤマサナエ



ベニシジミ



ニワゼキショウ



アレチハナガサ

(2) 秋季調査

植 物

秋季調査では、シダ植物 12 科 19 種、種子植物 79 科 266 種【裸子植物 1 科 2 種、被子植物 78 科 264 種（双子葉類 68 科 197 種、単子葉類 10 科 67 種）】の合計 91 科 285 種を確認（同定）した。

[記号]木：木本類¹ 帰：帰化植物² 逸：植栽逸出³ NO.1

科名	和名	記号	科名	和名	記号	
シダ植物 12 科 19 種						
イワヒバ科	イヌカタヒバ		ホウライシダ科	タチシノブ		
トクサ科	スギナ			ホウライシダ		
ハナヤスリ科	コヒロハハナヤスリ		シンガシラ科	オオカグマ		
ウラジロ科	ウラジロ		オシダ科	オニヤブソテツ		
	コシダ			ベニシダ		
フサシダ科	カニクサ			ヤブソテツ		
コバノイシカグマ科	イシカグマ		ヒメシダ科	ホシダ		
	フモトシダ		ウラボシ科	ノキシノブ		
	ワラビ			ヒツツバ		
ホングウシダ科	ホラシノブ					
種子植物 79 科 266 種						
裸子植物	(1 科 2 種)		ボロボロノキ科	ボロボロノキ	木	
マツ科	アカマツ	木	ビャクダン科	カナビキソウ		
	クロマツ	木	タデ科	イシミカワ		
被子植物	(78 科 264 種)			イヌタデ		
(1) 双子葉類	(68 科 197 種)				ギシギシ	
離弁花類	(44 科 137 種)				シロバナサクラタデ	
					スイバ	
ヤマモモ科	ヤマモモ	木		ヒメツルソバ	逸	
ブナ科	アラカシ	木		ミゾソバ		
	クヌギ	木	オシロイバナ科	オシロイバナ	帰	
	クリ	木	ザクロソウ科	ザクロソウ		
	コナラ	木	スベリヒユ科	スベリヒユ		
	シリブカガシ	木			ハゼラン	帰
	ツブラジイ	木				
ニレ科	エノキ	木	アカザ科	アカザ		
	ムクノキ	木		ケアリタソウ	帰	
クワ科	イヌビワ	木		シロザ		
	イタビカズラ	木	ヒユ科	イヌビユ	帰	
	カジノキ	木			イノコズチ	
	クワクサ				ホナガイヌビユ	帰
	ホソバイヌビワ	木	マツブサ科	サネカズラ	木	
	カナムグラ		クスノキ科	クスノキ	木	
イラクサ科	カラムシ			シロダモ	木	
	ヤブマオ			タブノキ	木	

科名	和名	記号	科名	和名	記号	
(クスノキ科)	ヤブニッケイ	木	(マメ科)	ヤマハギ	木	
キンボウゲ科	キツネノボタン			ヤマフジ	木	
アケビ科	アケビ	木	カタバミ科	アカカタバミ		
	ゴヨウアケビ	木		オッタチカタバミ	帰	
	ミツバアケビ	木		ムラサキカタバミ	帰	
	ムベ	木		トウダイグサ科	アカメガシワ	木
ツツラフジ科	アオツツラフジ	木	シナアブラギリ		木・逸	
	ハスノハカズラ	木	エノキグサ			
ドクダミ科	ドクダミ		カンコノキ		木	
ウマノスズクサ科	ウマノスズクサ		コニシキソウ		帰	
ツバキ科	ハマヒサカキ	木・逸	コミカンソウ			
	ヒサカキ	木	ナンキンハゼ		木・逸	
	ヤブツバキ	木	ニシキソウ			
オトギリソウ科	ヒメオトギリ		ハイニシキソウ		帰	
トベラ科	トベラ	木	ブラジルコミカンソウ		帰	
バラ科	カマツカ	木	ユズリハ科	ヒメユズリハ	木	
	クサイチゴ	木	ミカン科	イヌザンショウ	木	
	シャリンバイ	木		カラスザンショウ	木	
	テリハノイバラ	木		センダン科	センダン	木
	ナガバモミジイチゴ	木	ヒメハギ科	ヒメハギ		
	ノイバラ	木	ウルシ科	ヌルデ	木	
	ピロードイチゴ	木		ハゼノキ	木	
	ピワ	木・逸	モチノキ科	イヌツゲ	木	
	ヤマザクラ	木		クロガネモチ	木	
	マメ科	アレチヌスビトハギ		帰	ナナミノキ	木
	エビスグサ	帰	ニシキギ科	ツルウメモドキ	木	
	クサネム			マサキ	木	
	クズ		ミツバウツギ科	ゴンズイ	木	
	コマツナギ			ブドウ科	エビヅル	木
	シロツメクサ	帰	キレハノブドウ		木	
	ツクシハギ	木	ツタ		木	
	ツルマメ		ノブドウ		木	
	ナツフジ	木	ヤブガラシ			
	ニシキハギ	木	アオイ科		キンゴジカ	帰
	ヌスビトハギ				ヤノネボンテンカ	帰
	ネコハギ		アオギリ科	アオギリ	木・逸	
	ネムノキ	木	グミ科	ナワシログミ	木	
	ノアズキ		ウリ科	カラスウリ		
	ハイメドハギ			キカラスウリ		
	ハタササゲ	逸	アカバナ科	アレチマツヨイグサ	帰	
	フサアカシア	木・逸		コマツヨイグサ	帰	
	ミヤコグサ			チョウジタデ		
	メドハギ			ヒルザキツキミソウ	帰	
	ヤハズソウ			メマツヨイグサ	帰	

科名	和名	記号	科名	和名	記号
アリトウグサ科	アリトウグサ		スイカズラ科	キダチニンドウ	木
ウコギ科	カクレミノ	木		ソクス	
	キツタ	木		ハクサンボク	木
	タラノキ	木	キキョウ科	ヒナギキョウ	
	ハリギリ	木	キク科	アキノキリンソウ	
	ヤツデ	木		アキノノゲシ	
セリ科	チドメグサ			アメリカセンダングサ	帰
	ノチドメ			アメリカタカサブロウ	帰
	マツバゼリ	帰		ウラジロチチコグサ	帰
合弁花類	(24科 60種)			オオアレチノギク	帰
リョウブ科	リョウブ	木		オオオナモミ	帰
ツツジ科	ネジキ	木		オオヂシバリ	
	シャシャンボ	木		ククイモ	帰
ヤブコウジ科	ツルコウジ	木		ククバヒヨドリ	
	マンリョウ	木		キバナコスモス	逸
	ヤブコウジ	木		コシロノセンダングサ	帰
サクラソウ科	コナスビ			セイタカアワダチソウ	帰
カキノキ科	ヤマガキ	木		セイヨウタンポポ	帰
エゴノキ科	エゴノキ	木		センダングサ	
ハイノキ科	クロキ	木	チチコグサモドキ	帰	
	ミズバイ	木	ヒメジョオン	帰	
モクセイ科	トウネズミモチ	木・逸	ヒメムカシヨモギ	帰	
	ネズミモチ	木	ヒヨドリバナ		
リンドウ科	リンドウ 福岡県絶滅危惧類		ベニバナボロギク	帰	
キョウチクトウ科	テイカカズラ	木	ホソバアキノノゲシ		
	ツルニチニチソウ	逸	ヨメナ		
ガガイモ科	ガガイモ		ヨモギ		
アカネ科	クチナシ	木	(2)単子葉類	(10科 67種)	
	ヘクソカズラ		ユリ科	サルトリイバラ	木
ヒルガオ科	コヒルガオ			ジャノヒゲ	
	ムラサキ科	チシャノキ		木	ツルボ
クマツヅラ科	クサギ	木		ニラ	
	アレチハナガサ	帰		ノビル	
シソ科	イヌコウジュ		ヤブラン		
	カキドオシ		ヒガンバナ科	ヒガンバナ	
ナス科	アメリカイヌホオズキ	帰	ヤマノイモ科	ニガカシュウ	
	クコ	木	ヤマノイモ		
ゴマノハグサ科	アゼナ		ツユクサ科	ツユクサ	
	ウリクサ			トキワツユクサ	帰
キツネノマゴ科	キツネノマゴ			マルバツユクサ	
	ヤナギバルイラソウ	逸		ヤブミョウガ	
ハマウツボ科	ナンバンギセル		イネ科	アキノエノコログサ	
オオバコ科	オオバコ			アキメヒシバ	
				アゼガヤ	

科名	和名	記号	科名	和名	記号	
(イネ科)	アブラススキ		(イネ科)	ネズミノオ		
	アメリカスズメノヒエ	帰		ノガリヤス		
	イヌビエ			マダケ	木	
	エノコログサ			ムラサキネズミノオ		
	オヒシバ			メガルカヤ		
	カゼクサ			メダケ	木	
	カモノハシ			メヒシバ		
	ギョウギシバ	帰		メリケンカルカヤ	帰	
	キンエノコロ			モウソウチク	木・帰	
	ケイヌビエ			ヨシ		
	コツブキンエノコロ			ヤシ科	シュロ	木
	コメヒシバ			サトイモ科	カラスビシャク	
	ササクサ			ショウブ		
	シナダレスズメガヤ	帰	ガマ科	ガマ		
	シマスズメノヒエ	帰	カヤツリグサ科	オニガヤツリ		
	ジュズダマ			コゴメガヤツリ		
	ススキ			シンジュガヤ		
	セイバンモロコシ	帰		福岡県絶滅危惧 B類		
	タイヌビエ			ナキリスゲ		
	タチスズメノヒエ	帰		ハマスゲ		
	チガヤ			ヒデリコ		
	チカラシバ			ヒメクグ		
	チヂミザサ			ヤマイ		
	トダシバ			ヤワラスゲ		
	ニワホコリ		ダンドク科	ダンドク	帰	
	ヌカキビ					
	ネザサ	木	合計	91科	285種	

植物のまとめ

分類群			春季調査		秋季調査		春季及び秋季調査		
			科	種	科	種	科	種	
シダ植物			16	43	12	19	16	46	
種子植物	裸子植物		1	2	1	2	1	2	
	被子植物	双子葉類	離弁花類	41	103	44	137	53	159
		合弁花類		22	52	24	60	25	80
		単子葉類		11	57	10	67	13	96
合計			91	257	91	285	108	383	

植物について、春季及び秋季の調査結果より重複種を整理すると108科383種の植物を確認（同定）できた。

これを過去の調査資料と比較すると、

- ・2001年大牟田市の「大牟田市自然環境調査報告書」では、107科473種

- ・2003年大牟田生物愛好会の「大牟田の野生植物」では、104科421種

が報告されている。

この地域の優先種として、木本類ではコナラ、ハゼ、シャシャンボ、クロキ、ヒサカキ、ネジキなどが多く、日当たりの良いこれらの林床は、シダ植物のコシダやウラボシなどが優先している。これらの植生からこの地域は、過去における燃料確保のための薪の確保、伐採、芝刈りの影響を受けた二次林であると推測することができる。

また、環境省絶滅危惧類と福岡県絶滅危惧A類に指定されているロクオンソウと福岡県絶滅危惧B類に指定されているシンジュガヤ、福岡県絶滅危惧類に指定されているリンドウを確認することができた。

植物の記号説明

帰化植物

私たちがふだん町中や道ばたで見かける植物のなかには、もともと日本列島にあったものではなく、いつの時代にか、いろいろな経路をたどって外国から入ってきた種類が数多く含まれている。そうした植物のなかで、江戸時代末期に鎖国がとけてから日本に入ったことが確実なものを「帰化植物」とよんでいる。日本全体の帰化植物は、1930年ごろ（昭和初期）には約150種であったものが1970年には約800種、現在1000種をこえているものと思われる。

昆虫類・クモ類・甲殻類

秋季調査では、10目46科89種の昆虫類及び1目13科24種のクモ類並びに1目2科2種の甲殻類を確認した。

昆虫類

1

目科名	和名	目科名	和名
チョウ目	(13科 39種)	イトトンボ科	アオモンイトトンボ
セセリチョウ科	イチモンジセセリ	サナエトンボ科	ダイワンウチヤンマ
	コチャバネセセリ	ヤンマ科	カトリヤンマ
	ダイミョウセセリ	トンボ科	ウスバキトンボ
	キマダラセセリ		コシアキトンボ
アゲハチョウ科	アオスジアゲハ		オオシオカラトンボ
	キアゲハ		マユタテアカネ
	アゲハチョウ	ノシメトンボ	
	クロアゲハ	コウチュウ目	(9科 12種)
シロチョウ科	ナガサキアゲハ	ハンミョウ科	ハンミョウ
	モンシロチョウ		ニワハンミョウ
	キチョウ	テントウムシ科	ナミテントウ
シジミチョウ科	モンキチョウ	ホソクビゴミムシ科	ミイデラゴミムシ
	ルリシジミ	ハネカクシ科	アオバアリガタハネカクシ
	ヤマトシジミ	エンマムシ科	ルリエンマムシ
	ムラサキシジミ	センチコガネ科	センチコガネ
	ムラサキツバメ	コガネムシ科	カナブン
ウラナミシジミ	シラホシハナムグリ		
ウラギンシジミ科	ウラギンシジミ		クロカナブン
タテハチョウ科	アカタテハ	ゴミムシダマシ科	キマワリ
	ヒメアカタテハ	ハムシ科	ウリハムシ
	ツマグロヒョウモン	カメムシ目	(2科 3種)
	タテハモドキ	カメムシ科	クサギカメムシ
	コミスジ		アオクサカメムシ
	イシガキチョウ	セミ科	ツクツクボウシ
	ゴマダラチョウ	ハチ目	(2科 3種)
	ルリタテハ	スズメバチ科	セグロアシナガバチ
ジャノメチョウ科	クロコノマチョウ		コガタスズメバチ
	クロヒカゲ	アリ科	アイイロアリ
	ヒメジャノメ	ハエ目	(6科 6種)
	コジャノメ	ムシヒキアブ科	シオヤアブ
ミノガ科	チャミノガ	アシナガバエ科	マダラアシナガバエ
	シバミノガ	カ科	ヒトスジシマカ
イラガ科	ヒロヘリアオイラガ	クロバエ科	キンバエ
ドクガ科	チャドクガ	ショウジョウバエ科	ショウジョウバエ
	ドクガ	ニクバエ科	センチニクバエ
ヤガ科	フクラスズメ	アカミカゲロウ目	(1科 1種)
スズメガ科	ホシホウジャク	ウスバカゲロウ科	ウスバカゲロウ
	オオスカシバ	ゴキブリ目	(2科 2種)
ヤママユガ科	クスサン	ゴキブリ科	クロゴキブリ
トンボ目	(4科 8種)	チャバネゴキブリ科	モリチャバネゴキブリ

目科名	和名	目科名	和名
バッタ目	(5科 12種)	キリギリス科	キリギリス
バッタ科	トノサマバッタ		クビキリギリス
	ショウリョウバッタ		ホシササキリ
	ショウリョウバッタモドキ		ツコムシ
	イボバッタ		
オンブバッタ科	オンブバッタ	カマキリ目	(2科 3種)
イナゴ科	ツチイナゴ	カマキリ科	ハラビロカマキリ
コオロギ科	エンマコオロギ	ヒメカマキリ科	オオカマキリ
	コガタコオロギ		ヒメカマキリ
		合計 10目 46科 89種	

クモ類

目科名	和名	目科名	和名
クモ目	(13科 24種)	タナグモ科	コクサグモ
ジグモ科	ジグモ	ヒラタグモ科	ヒラタグモ
サラグモ科	チビアカサラグモ	キンダグモ科	イオウイロハシリグモ
ヒメグモ科	オオヒメグモ	コモリグモ科	ハラクロコモリグモ
	イエオニグモ		ウズキコモリグモ
コガネグモ科	ドヨウオニグモ	ササグモ科	ササグモ
	ナガコガネグモ	カニグモ科	ハナグモ
	コガネグモ	ハエトリグモ科	マミジロハエトリ
	ゴミグモ		ネコハエトリ
アシナガグモ科	ジョロウグモ	アシダカグモ科	ヤハズハエトリ
	アシナガグモ		チャスジハエトリ
	ヤサガタアシナガグモ		アシダカグモ
	チュウガタシロガネグモ		
		合計 1目 13科 24種	

甲殻類

目科名	和名	目科名	和名
ワラジムシ目	(2科 2種)	ダンゴムシ科	オカダンゴムシ
ワラジムシ科	ワラジムシ	合計 1目 2科 2種	

昆虫類・クモ類・甲殻類のまとめ

春季調査では6目36科60種の昆虫類及び1目7科9種のクモ類を確認し、秋季調査では、10目46科89種の昆虫類及び1目13科24種のクモ類、並びに1目2科2種の甲殻類を確認できた。

春季及び秋季調査での重複種を整理すると10目58科115種の昆虫類及び1目13科26種のクモ類並びに1目2科2種の節足動物甲殻網を確認できた。また、昆虫類では、福岡県絶滅危惧類に指定されているコムラサキを確認することができた。

爬虫類・両生類

秋季調査では、爬虫類 2 目 2 科 2 種・両生類 1 目 1 科 3 種を確認した。

爬虫類

目科名	和名	目科名	和名
カメ目	(1 科 1 種)	有鱗目	(1 科 1 種)
ヌマガメ科	アカミミガメ	カナヘビ科	カナヘビ
合計 2 目 2 科 2 種			

両生類

目科名	和名	目科名	和名
カエル目	(1 科 3 種)	(アカガエル科)	ヌマガエル
アカガエル科	ニホンアカガエル		ウシガエル
	福岡県絶滅危惧 類	合計 1 目 1 科 3 種	

和名：ニホンアカガエル

福岡県絶滅危惧 類

カエル目 アカガエル科

頭胴長は雄 55 mm、雌 65 mm 前後。背面は、赤褐色、黄褐色、暗褐色で、眼の後縁から鼓膜をとおり前肢基部にかけて平行四辺形状の大きな黒斑がある。雄の腹面は白色、雌の覆面は橙色また橙色と黄色のまだら模様。基本的に地上性の種で、水辺から離れた林や茂みの中で生活する。雄に外鳴嚢がないため泣き声は小さく、「キョツ、キョツ、キョツ・・・」と聞こえる。産卵場所は、丘陵地の林縁にある日当たりのよい水田の溝や湿地で、ため池の浅い部分に産卵する。昆虫類やクモ類を捕食し、ヘビ、鳥、たぬきなどに捕食される。以前は、比較的普通に見られるカエルであったが、近年宅地開発や森林の伐採、湿地や山間部の水田域の乾燥化によって産卵適地が失われ、分布域・個体数とも大幅に減少している。



ニホンアカガエル

爬虫類・両生類のまとめ

春季調査では、爬虫類 2 目 2 科 2 種、両生類 1 目 1 科 2 種を確認し、秋季調査では、爬虫類 2 目 2 科 2 種、両生類 1 目 1 科 3 種を確認した。春季及び秋季調査での重複種を整理すると、爬虫類 2 目 2 科 2 種、両生類 1 目 1 科 4 種を確認した。しかし、今回の調査では、調査目的に記載している福岡県絶滅危惧 類に指定されているトノサマガエル及び同絶滅危惧 類に指定されているカスミサンショウウオは、確認することはできなかったが、同絶滅危惧 類に指定されているニホンアカガエルを確認することができた。また、ふもとのため池では多くのカメを確認したが、これらはすべてアカミミガメであり外来種であった。このような外来種の侵入により、日本在来のニホンイシガメ・クサガメ・ニホンスッポン等の生存が脅かされている。

鳥 類

秋季調査では、7目11科13種を確認した。

また、サギ類の営巣地の甘木山学園北側では、アオサギの死骸及び卵殻(種類は不明)があった。

目科名	和名	目科名	和名
カイツリ目	(1目 1科 1種)	ハト目	(1目 1科 1種)
カイツリ科	カイツリ	ハト科	キジバト
コウノトリ目	(1目 1科 2種)	スズメ目	(1目 5科 6種)
サギ科	ゴイサギ	セキレイ科	ハクセキレイ
	アオサギ	シジュウカラ科	ヤマガラ
カモ目	(1目 1科 1種)	メジロ科	メジロ
カモ科	ヒドリガモ	ハタオリドリ科	スズメ
キジ目	(1目 1科 1種)	カラス科	ハシブトガラス
キジ科	コジュケイ		ハシボソガラス
タカ目	(1目 1科 1種)	合計 7目 11科 13種	
タカ科	ミサゴ		
環境省準絶滅危惧、福岡県準絶滅危惧			

和名：ミサゴ

環境省準絶滅危惧、福岡県準絶滅危惧

タカ目 タカ科

全長雄約56～雌61.5cm。翼開張は雄約147～雌約168.5cm。飛翔時は下面は白く胸部に褐色の帯が目立つ。県内では、玄界灘から周防灘の海岸線各所や、大牟田市沖の三池島、初島で記録されている。

海辺や河川で、高度50～100mくらいを巡回飛翔し、獲物を発見すると急降下し両足で水面を蹴るように生きた魚を捕獲する。しかし、失敗することも多い。捕獲時には両足を前後にして魚を運ぶが、魚が大きいと高度を上げるのに苦勞し、力強く羽ばたきながらしばらくは水面上を飛翔している。定置網などの棒杭の上にとまって捕食する。



ミサゴ

鳥類のまとめ

春季調査(2回の補足調査を含む)では7目19科25種を確認し、秋季調査では、7目11科13種を確認した。重複種を整理すると9目22科28種を確認した。

また、春季調査ではアオサギやダイサギ等の4種のサギ類の営巣と福岡県準絶滅危惧に指定されているキビタキを確認し、秋季調査では環境省準絶滅危惧及び福岡県準絶滅危惧に指定されているミサゴを確認することができた。

水生動物・陸産貝類

秋季調査で、水生動物 1 目 2 科 2 種及び陸産貝類 2 科 3 種を確認した。

水生動物

目科名	和名	確認場所
エビ目	(2科 2種)	
テナガエビ科	スジエビ	大牟田北高校用水路
アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	鷹ヶ浦第 1～2 堤

陸産貝類

科名	和名	確認場所
リングガイ科	スクミリングガイ	甘木山学園前の水田
オナジマイマイ科	ウスカワマイマイ	甘木山学園近くの民家の庭
	ツクシマイマイ	大牟田北高校の校庭

地形・地質

大牟田市の北西部にあり、筑後平野の南縁に位置している。黒崎～甘木山地域の北側は隈川が流れ、南側は白銀川が流れている。両河川とも西進し有明海へ流れ込んでいる。最高点標高は123mである。頂部は広く緩やかな斜面からなっており、東の方にある楠田、筑肥山地へと続いている。

当地域の古第三紀層は下位より赤崎、大牟田、万田の3層群に大別され、赤崎層群は銀水層、大牟田層群は下位より米の山、稲荷、七浦の3層に、万田層群は勝立、四ツ山の2層に分かれている。最下位の銀水層は特徴のある紫赤色を示す陸成層の岩相が発達していることから、当地が第三紀の初め堆積盆地として沈降をはじめた頃、亜熱帯～熱帯のはげしい気候下で生成されたといわれている。

甘木山の地質的な概要としては、本地域の基盤岩類をなす、筑後変成岩や玉名花崗閃緑岩の露頭が見られる。筑後変成岩は三郡変成岩に相当する広域変成岩とされてきたが、三郡変成帯は、プレートの動きに伴って付加された付加帯堆積物であることが明らかになってきた。付加帯として区分された三郡一連華帯、周防帯、智頭帯のうち、当地域の筑後変成岩は周防帯(約2億2千万年前)に区分されている。岩相としては、泥質～砂質片岩、緑色片岩などからなり泥岩起源のものが多い。玉名花崗閃緑岩(約9千万年前)は、三池山の主体をなす深成岩であるが、黒崎～甘木地域では半花崗岩や巨晶花崗岩のような脈状の貫入岩としての産状が見られる。これら基盤岩類は古第三紀層によって不整合に覆われており、古第三紀層の最下部層である赤崎層群銀水層や、大牟田層群米ノ山層が分布している。

銀水層はレキ岩、砂岩、頁岩を主とする陸成層であり、層序、岩相ともに変化が著しい。レキ岩は淘汰が悪く、レキの円磨度も低い。頁岩は、青灰色や紫赤色という、本地域では特異的な色調を呈している。甘木山西方の手鎌地区では、不規則な不整合面に対して、斜交して上位の銀水層が堆積している露頭(アバット)が見られ、この地域が沈降して古第三紀層が堆積を始める初期の様相を観察できる。

大牟田層群の米の山層は、汽水域の堆積岩が主となっており、泥質細粒の砂岩や頁岩からなっている。甘木山地域の南西部にわずかに分布が見られる。



銀水層のレキ岩
(淘汰の悪いレキが見られる)



銀水層に特徴的な紫赤色層
(画像下半分の部分)

秋の調査ルート図 (9月28日)



調査風景1



出発前打合わせ



鳶ヶ浦堤観察



ハゼの実



シンジュガヤ



銀水層の露頭



野生化したカキノキ



アオモンイトトンボ



イチモンジセセリ



ホソヒラタアブ



コガネグモの幼生



アレチヌスビトハギ



コハナヤスリ



木の葉に潜むニホンアカガエル



ルリタテハ



ヒメジャノメ



ヒガンバナ

5 まとめ

甘木山は、ほんの35年程前までは、シイ、カシ類、コバンモチ、クロバイ、クロキ、ヤマモモ等の常緑広葉樹の豊かな森が形成されていた。そして、山林域には灌漑用のため池が点在し、その周辺には良好な湿地環境が存在し、モウセンゴケ、ノハナショウブ、カキランなどの貴重な好湿生植物が見られた。

しかし、その後の開発により樹林の大半が伐採され、以前には観察できたそれらの植物がまったく確認できなくなった。また、保水機能をもつ樹林消失による湧水量の減少は、甘木山南西側で確認されているカスミサンショウウオの生存を脅かしている。

開発や施設整備（道路・水路整備等）にともなう樹林帯の消滅や環境変化は、河畔林や草本類（植物）の変化・消失だけにとどまらず、その周辺域に生息する昆虫、クモなどの小動物類の個体数の減少から野鳥類の個体数の減少へと繋がっていく。このようにして、食物連鎖の底辺に位置する水生生物や昆虫類の個体数の減少が、より大きな野生生物の減少へと連鎖し自然環境全体に大きな影響を与える。甘木山にもこのような影響が表れている。また、甘木山の周辺や裾野では、他の地域でも見られるような耕作地の放棄や竹林の侵出などによる荒廃が目につくようになってきている。

しかし、今回の調査で希少な野生生物を、植物で3種、昆虫で1種、野鳥で2種、両生類で1種の計7種を確認することができた（内訳：環境省及び福岡県で指定されている絶滅危惧種は2種、福岡県で指定されている絶滅危惧種は5種）。さらに、南部のクスノキ林やため池では、賑やかに営巣中のサギ類も確認することができた。

緑豊かな自然と貴重な野生生物が生息する甘木山の自然環境が、地元関係者の努力や市民の支援により、今後も良好に維持・保存されていくことを願いたい。

大牟田市自然環境調査研究会

【参考とした文献・資料】

- (1)「福岡県の希少野生生物」平成13年3月 福岡県制作・発行
- (2)「大牟田市自然環境調査報告書」平成13年6月 大牟田市編集・発行
- (3)「大牟田の宝もの100選」2002年2月 大牟田市役所主査・主任会編集・発行

大牟田市自然環境調査研究会

大牟田市における自然環境の調査、研究等を行い、専門的な見地から助言等を行う、市長の委嘱を受けた機関です。

発行日 / 平成21年3月

編集・発行 / 大牟田市環境部環境保全課

〒836-8666 大牟田市有明町2丁目3番地

TEL:0944(41)2721 FAX:0944(41)2722

参考資料

1 2008 年春季及び秋季調査集計表

- ・ 鳥 類
- ・ 水生動物
- ・ クモ類
- ・ 陸産貝類
- ・ 甲殻類
- ・ 担子菌類（キノコ類）

2 甘木山の調査年度による比較表

- ・ 植 物 （2008 年調査、2003 年調査、2001 年調査）
- ・ 昆虫類 （2008 年調査、2001 年調査）
- ・ 爬虫類 （2008 年調査、2001 年調査）
- ・ 両生類 （2008 年調査、2001 年調査）

3 鳥類の補足調査の追加資料

絶滅危惧等は、環境省・福岡県ともに、平成 21 年 3 月時点でのレッドリストに基づく。

1 2008年春季及び秋季調査集計表

【鳥類】

目名	科名	和名	2008年 春季調査	2008年 秋季調査	
カイツリ目	カイツブリ科	カイツブリ			
コウノトリ目	サギ科	ゴイサギ			
		アオサギ			
		ダイサギ			
		アマサギ			
カモ目	カモ科	ヒドリガモ			
キジ目	キジ科	コジュケイ			
タカ目	タカ科	ミサゴ 環境省準絶滅危惧 福岡県準絶滅危惧			
ハト目	ハト科	キジバト			
カッコウ目	カッコウ科	ホトギス			
キツツキ目	キツツキ科	コゲラ			
スズメ目	ツバメ科	ツバメ			
	ヒヨドリ科	ヒヨドリ			
	チメドリ科	ソウシチョウ			
	ウグイス科	ウグイス			
	ヒタキ科	キビタキ 福岡県準絶滅危惧			
	エナガ科	エナガ			
	シジュウカラ科	シジュウカラ			
		ヤマガラ			
	メジロ科	メジロ			
	ホオジロ科	ホオジロ			
	アトリ科	カワラヒワ			
	ハタオリドリ科	スズメ			
	ムクドリ科	ムクドリ			
	カラス科	カササギ			
		ハシブトガラス			
ハシボソガラス					
セキレイ科	ハクセキレイ				
合計			9目	22科	28種

【クモ類】

目名	科名	和名	2008年 今回調査
クモ目	ジグモ科	ジグモ	
	サラグモ科	チビアカサラグモ	
	ヒメグモ科	オオヒメグモ	
		イエオニグモ	
	コガネグモ科	ドヨウオニグモ	
		ナガコガネグモ	
		コガネグモ	
		ゴミグモ	
		サツマノミダマシ	
	アシナガグモ科	ジョロウグモ	
		アシナガグモ	
		ヤサガタアシナガグモ	
		チュウガタシロガネグモ	
	タナグモ科	コクサグモ	
	ヒラタグモ科	ヒラタグモ	
	キンダグモ科	イオウイロハシリグモ	
	コモリグモ科	ハラクロコモリグモ	
		ウズキコモリグモ	
	ササグモ科	ササグモ	
	カニグモ科	ハナグモ	
	ハエトリグモ科	マミジロハエトリ	
		ネコハエトリ	
		ヤハズハエトリ	
		チェスジハエトリ	
		アオオビハエトリ	
	アシダカグモ科	アシダカグモ	
合計			1目 13科 26種

【甲殻類】

目名	科名	和名	2008年 今回調査
ワラジムシ目	ワラジムシ科	ワラジムシ	
	ダンゴムシ科	オカダンゴムシ	
合計 1目2科2種			

【水生動物】

目名	科名	和名	2008年 今回調査
エビ目	テナガエビ科	スジエビ	
	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	
合計 1目2科2種			

【陸産貝類】

科名	和名	2008年 今回調査
リングガイ科	スクミリングガイ	
オナジマイマイ科	ウスカワマイマイ	
	ツクシマイマイ	
合計 2科3種		

【担子菌類(キノコ類)】

目名	科名	和名	2008年 今回調査
マツタケ目	キシメジ科	シバフタケ	
	ハラタケ科	ドクカラカサタケ	
サルノコシカケ目	マンネンタケ科	コフキサルノコシカケ	
合計 2目3科3種			

2 甘木山の調査年度による比較表

2003年：大牟田生物愛好会「大牟田の野生植物」104科421種

2001年：大牟田市「大牟田市自然環境調査報告書」107科473種(黒崎地区を含む)

科名は、2008年の今回調査に合わせている。

【植 物】1

科名	和名	2008年 今回調査	2003年	2001年
ヒカゲノカズラ科	ミズスギ			
	ヒカゲノカズラ			
	トウゲシバ			
	ヒロハノトウゲシバ			
イワヒバ科	コンテリクラマゴケ			
	タチクラマゴケ			
	カタヒバ			
トクサ科	スギナ			
	イヌドクサ			
ハナヤスリ科	オオハナワラビ			
	コハナヤスリ			
	コヒロハハナヤスリ			
ゼンマイ科	ゼンマイ			
キジノオシダ科	キジノオシダ			
ウラジロ科	ウラジロ			
	コシダ			
フサシダ科	カニクサ			
コバノイシカグマ科	イヌシダ			
	イシカグマ			
	イワヒメワラビ			
	フモトシダ			
	クジャクフモトシダ			
	ワラビ			
ホングウシダ科	ホラシノブ			
ホウライシダ科	イワガネソウ			
	ホウライシダ			
	タチシノブ			
小計		17種	20種	24種

【植 物】2

科 名	和 名	2008 年 今回調査	2003 年	2001 年
イノモトソウ科	イノモトソウ			
チャセンシダ科	トラノオシダ			
シシガシラ科	オオカグマ			
	シシガシラ			
オンダ科	イノデ			
	イノデモドキ			
	イワヘゴ			
	オオカナワラビ			
	ホソバカナワラビ			
	オクマワラビ			
	オニカナワラビ			
	オニヤブソテツ			
	クマワラビ			
	マルバベニシダ			
	オオベニシダ			
	ツクシイワヘゴ			
	ナガバノイタチシダ			
	ハカタシダ			
	ベニシダ			
	ヤブソテツ			
	ヤマヤブソテツ			
	ヒメイタチシダ			
テリハヤブソテツ				
ヒメシダ科	コハシゴシダ			
	ハシゴシダ			
	ヒメワラビ			
	ホシダ			
	ミゾシダ			
	ゲジゲジシダ			
	ヤワラシダ			
	シロヤマシダ			
小計		23 種	25 種	23 種

【植 物】3

科 名	和 名	2008 年 今回調査	2003 年	2001 年
イワデングダ科	ヘラシダ			
	イヌワラビ			
	シケシダ			
	シケチシダ			
ウラボシ科	ノキシノブ			
	マメツタ			
	ヒトツバ			
	ミツデウラボシ			
マツ科	クロマツ			
	アカマツ			
ヤマモモ科	ヤマモモ			
ブナ科	ツブラジイ			
	アラカシ			
	クヌギ			
	コナラ			
	シリブカガシ			
	クリ			
	マテバシイ			
	イチイガシ			
	スダジイ			
	ニレ科	ムクノキ		
エノキ				
クワ科	イヌビワ			
	ホソバイヌビワ			
	イタビカズラ			
	カジノキ			
	クワクサ			
	オオイタビ			
ヤマモガシ科	ヤマモガシ			
ボロボロノキ科	ボロボロノキ			
ビャクダン科	カナビキソウ			
小計		24 種	24 種	28 種

【植 物】4

科 名	和 名	2008 年 今回調査	2003 年	2001 年
タデ科	ミズヒキ			
	オオイヌタデ			
	サナエタデ			
	アレチギンギシ			
	ミゾソバ			
	ハルタデ			
	イシミカワ			
	イヌタデ			
	ギンギシ			
	コギンギシ			
	シロバナサクラタデ			
	スイバ			
	ヒメツルソバ			
	オオケタデ			
ママコノシリヌグイ(トゲソバ)				
ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ			
ナデシコ科	ノミノツヅリ			
	オランダミミナグサ			
	ミミナグサ			
	ハマツメクサ			
	イヌコモチナデシコ			
	ウシハコベ			
	シロバナマンテマ			
	ノミノフスマ			
	コハコベ			
	ミドリハコベ			
ヒユ科	イノコズチ			
	ヒナタイノコズチ			
	ホソバツルノゲイトウ			
小計		13 種	20 種	24 種

【植 物】5

科 名	和 名	2008 年 今回調査	2003 年	2001 年
(ヒユ科)	イヌビユ			
	ホナガイヌビユ			
	ホソアオゲイトウ			
マツブサ科	サネカズラ			
クスノキ科	ヤブニッケイ			
	クスノキ			
	シロダモ			
	ホソバタブ			
	タブノキ			
キンポウゲ科	ヒメウス			
	コバノボタンヅル			
	センニンソウ			
	ケキツネノボタン			
	ウマノアシガタ			
	タガラシ			
	キツネノボタン			
メギ科	ナンテン			
アケビ科	アケビ			
	ゴヨウアケビ			
	ミツバアケビ			
	ムベ			
ツツラフジ科	アオツツラフジ			
	ハスノハカズラ			
ドクダミ科	ドクダミ			
センリョウ科	センリョウ			
	ヒトリシズカ			
ツバキ科	ハマヒサカキ			
	ヒサカキ			
	ヤブツバキ			
	チャノキ			
	モッコク			
小計		19 種	26 種	25 種

【植 物】6

科 名	和 名	2008 年 今回調査	2003 年	2001 年
オトギリソウ科	コケオトギリ			
	ヒメオトギリ			
	オトギリソウ			
	コゴメバオトギリ			
アブラナ科	スズナ			
	オオケタネツケバナ			
	オオタネツケバナ			
	タネツケバナ			
	スカシタゴボウ			
	オランダガラシ			
	ナズナ			
マンサク科	イスノキ			
ベンケイソウ科	コモチマンネングサ			
	メキシコマンネングサ			
ユキノシタ科	ウツギ			
ケシ科	ツクシケマン			
	ムラサキケマン			
トベラ科	トベラ			
バラ科	テリハノイバラ			
	ナワシロイチゴ			
	ノイバラ			
	ピロードイチゴ			
	ビワ			
	ナガバモミジイチゴ			
	ヤマザクラ			
	カマツカ			
	クサイチゴ			
	シャリンバイ			
	トキワサンザシ			
	キンミズヒキ			
	ヘビイチゴ			
	カナメモチ			
小計		17 種	18 種	21 種

【植 物】7

科 名	和 名	2008 年 今回調査	2003 年	2001 年
(バラ科)	オヘビイチゴ			
	ケナシカマツカ			
	ヤブイバラ			
	ニオイイバラ			
	フユイチゴ			
	ミヤマフユイチゴ			
マメ科	ナツフジ			
	ハリエンジュ			
	ネコハギ			
	ネムノキ			
	ハイメドハギ			
	フサアカシア			
	ミヤコグサ			
	メドハギ			
	ヤマハギ			
	アレチヌスビトハギ			
	ヌスビトハギ			
	ヤハズソウ			
	エビスグサ			
	クサネム			
	クズ			
	コマツナギ			
	シロツメクサ			
	ツクシハギ			
	ツルマメ			
	ニシキハギ			
	ノアズキ			
	ハタササゲ			
	ヤマフジ			
ヤブマメ				
ゲンゲ				
小計		23 種	22 種	19 種

【植 物】8

科 名	和 名	2008 年 今回調査	2003 年	2001 年
(マメ科)	カワラケツメイ			
	ミソナオシ			
	ノササゲ			
	ヒメクス			
	マルバヤハズソウ			
	ウマゴヤシ			
	タンキリマメ			
	カラスノエンドウ			
	スズメノエンドウ			
	コメツブツメクサ			
	カスマグサ			
フウロソウ科	アメリカフウロ			
	ゲンノショウコ			
トウダイグサ科	ナンキンハゼ			
	アカメガシワ			
	シナアブラギリ			
	カンコノキ			
	トウダイグサ			
	コニシキソウ			
	コミカンソウ			
	ニシキソウ			
	エノキグサ			
	ハイニシキソウ			
	ブラジルコミカンソウ			
	オオニシキソウ			
	ピロードエノキグサ			
ユズリハ科	ヒメユズリハ			
ミカン科	イヌザンショウ			
	カラスザンショウ			
センダン科	センダン			
ヒメハギ科	ヒメハギ			
ウルシ科	ヌルデ			
小計		18 種	25 種	26 種

【植 物】9

科 名	和 名	2008 年 今回調査	2003 年	2001 年
(ウルシ科)	ハゼノキ			
	ヤマハゼ			
ムクロジ科	ムクロジ			
モチノキ科	ナナミノキ			
	イヌツゲ			
	クロガネモチ			
ニシキギ科	ツルウメモドキ			
	マサキ			
ブドウ科	ツタ			
	エビヅル			
	ノブドウ			
	キレハノブドウ			
	ヤブガラシ			
ホルトノキ科	コバンモチ			
アオギリ科	アオギリ			
グミ科	ナワシログミ			
	アキグミ			
イイギリ科	クストイゲ			
スマレ科	タチツボスマレ			
	コスミレ			
アカバナ科	コマツヨイグサ			
	メマツヨイグサ			
	アレチマツヨイグサ			
	チョウジタデ			
	ヒルザキツキミソウ			
	アカバナ			
	マツヨイグサ			
アリノトウグサ科	アリノトウグサ			
ウコギ科	カクレミノ			
	キツタ			
	タラノキ			
小計		25 種	26 種	26 種

【植 物】10

科 名	和 名	2008 年 今回調査	2003 年	2001 年
(ウコギ科)	ハリギリ			
	ヤツデ			
セリ科	セリ			
	オヤブジラミ			
	マツバゼリ			
	チドメグサ			
	ツボクサ			
	ノチドメ			
	セントウソウ			
	ヤブニンジン			
	ウマノミツバ			
	ヤブジラミ			
	ミツバ			
アサ科	カナムグラ			
イラクサ科	カラムシ			
	ヤブマオ			
	ナンバンカラムシ			
	コアカソ			
オシロイバナ科	オシロイバナ			
ザクロソウ科	ザクロソウ			
スベリヒユ科	スベリヒユ			
	ハゼラン			
アカザ科	アカザ			
	ケアリタソウ			
	シロザ			
	コアカザ			
	ホウキギ			
キンポウゲ科	キツネノボタン			
ウマノスズクサ科	ウマノスズクサ			
カタバミ科	アカカタバミ			
	オッタチカタバミ			
小計		22 種	18 種	19 種

【植 物】11

科 名	和 名	2008 年 今回調査	2003 年	2001 年
(カタバミ科)	ムラサキカタバミ			
	イモカタバミ			
	カタバミ			
	タチカタバミ			
ミツバウツギ科	ゴンズイ			
アオイ科	キンゴジカ			
	ヤノネボンテンカ			
ウリ科	カラスウリ			
	キカラスウリ			
	アマチャヅル			
ミソハギ科	ホソバヒメミソハギ			
	ミソハギ			
	キカシグサ			
ヒシ科	ヒシ			
ツツジ科	ネジキ			
	シャシャンボ			
	ヤマツツジ			
ヤブコウジ科	ツルコウジ			
	マンリョウ			
	ヤブコウジ			
	イズセンリョウ			
	タイミンタチバナ			
サクラソウ科	オカトラノオ			
	コナスビ			
	ルリハコベ			
カキノキ科	ヤマガキ			
エゴノキ科	エゴノキ			
ハイノキ科	ミズバイ			
	クロキ			
	カンザブロウノキ			
モクセイ科	トウネズミモチ			
小計		18 種	19 種	26 種

【植 物】12

科 名	和 名	2008 年 今回調査	2003 年	2001 年
(モクセイ科)	ネズミモチ			
リンドウ科	リンドウ 福岡県絶滅危惧 類			
キョウチクトウ科	テイカカズラ			
	ケテイカカズラ			
	ツルニチニチソウ			
ガガイモ科	ロクオンソウ 環境省絶滅危惧 類 福岡県絶滅危惧 A類			
	ガガイモ			
アカネ科	クチナシ			
	アルドオシ			
	ハクチョウゲ			
	ヒメヨツバムグラ			
	ヘクソカズラ(ヤイトバナ)			
	ヤエムグラ			
	ハシカグサ			
	ニセジュズノキ			
ヒルガオ科	コヒルガオ			
	アメリカネナシカズラ			
	アオイゴケ 福岡県準絶滅危惧			
	マメアサガオ			
	ホシアサガオ			
クマツヅラ科	クサギ			
	アレチハナガサ			
	ヤブムラサキ			
	ヤナギハナガサ			
	クマツヅラ			
シソ科	トウバナ			
	ヤマハッカ			
	イヌコウジュ			
小計		18 種	18 種	18 種

【植 物】13

科 名	和 名	2008 年 今回調査	2003 年	2001 年
(シソ科)	カキドオシ			
	キランソウ			
	ホトケノザ			
	オドリコソウ			
	アキノタムラソウ			
	ミゾコウジュ 環境省準絶滅危惧			
ナス科	オオイヌホオズキ			
	アメリカイヌホオズキ			
	クコ			
	センナリホオズキ			
	ヒヨドリジョウゴ			
	イヌホオズキ			
ゴマノハグサ科	マツバウンラン			
	アゼナ			
	ウリクサ			
	トキワハゼ			
	ママコナ			
	タチイヌノフグリ			
	フラサバソウ			
	オオイヌノフグリ			
	カワヂシャ 環境省準絶滅危惧 福岡県準絶滅危惧			
	ハエドクソウ科	ハエドクソウ		
オオバコ科	オオバコ			
	ツボミオオバコ			
スイカズラ科	ハクサンボク			
	キダチニンドウ			
	スイカズラ			
	ソクズ			
	ハマニンドウ			
	サンゴジュ			
小計		14 種	21 種	25 種

【植 物】14

科 名	和 名	2008 年 今回調査	2003 年	2001 年
キキョウ科	ヒナギキョウ			
	キキョウソウ			
	ミゾカクシ			
	キキョウ 環境省絶滅危惧 類 福岡県絶滅危惧 類			
キク科	ヌマダイコン			
	ヒヨドリバナ			
	ベニバナボロギク			
	ヒメジョオン			
	ヤナギバヒメジ ョオン			
	ヘラバヒメジョオン			
	ヨモギ			
	ガンクビソウ			
	セイトカアワダチソウ			
	ムラサキニガナ			
	アキノノゲシ			
	チチコグサ			
	チチコグサモドキ			
	ウラジロチチコグサ			
	アキノキリンソウ			
	アメリカセンダングサ			
	アメリカタカサブロウ			
	オオアレチノギク			
	オオオナモミ			
	オオヂシバリ			
	ククイモ			
	ククバヒヨドリ			
	キバナコスモス			
	コシロノセンダングサ			
セイヨウタンポポ				
小計		27 種	22 種	21 種

【植 物】15

科 名	和 名	2008 年 今回調査	2003 年	2001 年
(キク科)	センダングサ			
	ヒメムカシヨモギ			
	ホソバアキノノゲシ			
	ヨメナ			
	コセンダングサ			
	コヤブタバコ			
	トキンソウ			
	ノアザミ			
	シマカンギク			
	タカサブロウ			
	ケナシヒメムカシヨモギ			
	ツワブキ			
	ウスベニチチコグサ			
	キツネアザミ			
	ニガナ			
	ハナニガナ			
	イワニガナ			
	ヤブタビラコ			
	フキ			
	コメナモミ			
	オニノゲシ			
	ハチジョウナ			
	ノゲシ			
	シロバナタンポポ			
	オナモミ 環境省絶滅危惧 類			
	オニタビラコ			
ヒロハホウキギク				
ハハコグサ				
コオニタビラコ				
リョウブ科	リョウブ			
小計		5 種	23 種	26 種

【植 物】16

科 名	和 名	2008 年 今回調査	2003 年	2001 年
ムラサキ科	チシャノキ			
	ハナイバナ			
	キュウリグサ			
キツネノマゴ科	キツネノマゴ			
	ヤナギバルイラソウ			
ハマウツボ科	ナンバンギセル			
オモダカ科	ウリカワ			
	オモダカ			
ヒルムシド科	エビモ			
ユリ科	ナルコユリ			
	ホウチャクソウ			
	ホトギス			
	ヤブラン			
	サルトリイバラ			
	ジャノヒゲ			
	ツルボ			
	ニラ			
	ノビル			
	ヒガンバナ			
	ヤマノイモ			
	ソクシンラン			
	ヤブカンゾウ			
	ウバユリ			
	コヤブラン			
ナガバジャノヒゲ				
ヒガンバナ科	ヒガンバナ			
ヤマノイモ科	ニガカシュウ			
	カエデドコロ			
	オニドコロ			
ミズアオイ科	コナギ			
ツククサ科	トキワツククサ			
	マルバツククサ			
小計		18 種	20 種	25 種

【植 物】17

科 名	和 名	2008 年 今回調査	2003 年	2001 年
(ツユクサ科)	ヤブミョウガ			
	ツユクサ			
	イボクサ			
イネ科	アオカモジグサ			
	アメリカスズメノヒエ			
	イヌナギナタガヤ			
	イヌムギ			
	オカメザサ			
	オニウシノケグサ			
	カモガヤ			
	カモジグサ			
	カラスムギ			
	ギョウギシバ			
	クサヨシ			
	ササクサ			
	シナダレスズメガヤ			
	シマスズメノヒエ			
	ススキ			
	スズメノチャヒキ			
	タチカモジグサ			
	タチスズメノヒエ			
	チガヤ			
	チヂミザサ			
	ツクシスズメノカタビラ			
	トボシガラ			
	ナガハグサ			
	ナギナタガヤ			
	ヌカボ			
	ネザサ			
ネズミホソムギ				
小計		29 種	21 種	23 種

【植 物】18

科 名	和 名	2008 年 今回調査	2003 年	2001 年
(イネ科)	ヒメコバンソウ			
	ホソムギ			
	マダケ			
	メダケ			
	メリケンカルカヤ			
	モウソウチク			
	ヨシ			
	アキノエノコログサ			
	アキメヒシバ			
	アゼガヤ			
	アブラスキ			
	イヌビエ			
	エノコログサ			
	オヒシバ			
	カゼクサ			
	カモノハシ			
	キンエノコロ			
	ケイヌビエ			
	コツブキンエノコロ			
	コメヒシバ			
	ジュズダマ			
	セイバンモロコシ			
	タイヌビエ			
	チカラシバ			
	トダシバ			
	ニワホコリ			
	ヌカキビ			
	ネズミノオ			
	ノガリヤス			
	ムラサキネズミノオ			
	メガルカヤ			
オガルカヤ				
	小計	31 種	17 種	25 種

【植 物】19

科 名	和 名	2008 年 今回調査	2003 年	2001 年
(イネ科)	メシバ			
	コブナグサ			
	スズメノテッポウ			
	カズノコグサ			
	ササガヤ			
	トキワスキ			
	オギ			
	オオクサキビ			
	スズメノヒエ			
	ハチク			
	ゴキダケ			
	ミゾイチゴツナギ			
	タマミゾイチゴツナギ			
	スズメノカタビラ			
	イタチガヤ			
	ヒエガエリ			
	ハマヒエガエリ			
	ハイヌメリ			
	モロコシガヤ			
	マコモ			
ホウライチク				
ヤシ科	シュロ			
サトイモ科	ショウブ			
	カラスビシャク			
	セキショウ			
ガマ科	ガマ			
カヤツリグサ科	シンジュガヤ 福岡県絶滅危惧 B 類			
	タチスゲ			
	ナキリスゲ			
	ハマスゲ			
	コップモエギスゲ			
小計		10 種	22 種	28 種

【植 物】20

科 名	和 名	2008 年 今回調査	2003 年	2001 年
(カヤツリグサ科)	マスクサ			
	ヤワラスゲ			
	オニガヤツリ			
	コゴメガヤツリ			
	ヒデリコ			
	ヒメクグ			
	ヤマイ			
	アオスゲ			
	アゼナルコ			
	シラスゲ			
	ウマスゲ			
	フサスゲ			
	アイダクグ			
	シロガヤツリ			
	トラノハナヒゲ			
イガクサ				
アヤメ科	オオニワゼキショウ			
	ニワゼキショウ			
イグサ科	クサイ			
	イ			
	コウガイゼキショウ			
ラン科	ネジバナ			
	シュンラン			
	コ克蘭			
	オオバトンボソウ			
ダンドク科	ダンドク			
小計		12 種	14 種	21 種
合計		108 科 383 種	104 科 421 種	107 科 473 種

2001年：大牟田市「大牟田市自然環境調査報告書」(4目12科14種)

【昆虫類】1

目名	科名	和名	2008年 今回調査	2001年
チョウ目	セセリチョウ科	イチモンジセセリ		
		キマダラセセリ		
		ダイミョウセセリ		
		コチャバネセセリ		
		クロセセリ		
	アゲハチョウ科	アゲハチョウ		
		アオスジアゲハ		
		キアゲハ		
		クロアゲハ		
		ナガサキアゲハ		
	シロチョウ科	モンシロチョウ		
		キチョウ		
		モンキチョウ		
		スジグロシロチョウ		
	シジミチョウ科	ツバメシジミ		
		ヤマトシジミ		
		ルリシジミ		
		ムラサキシジミ		
		ムラサキツバメ		
	ウラギンシジミ科	ウラギンシジミ		
	タテハチョウ科	アカタテハ		
		ヒメアカタテハ		
		ツマグロヒョウモン		
		コムラサキ 福岡県絶滅危惧 類		
		コミスジ		
		イシガキチョウ		
		ゴマダラチョウ		
		キタテハ		
		サトキマダラヒカゲ		
タテハモドキ				
小計			29種	2種

【昆虫類】2

目名	科名	和名	2008年 今回調査	2001年
(チョウ目)	(タテハチョウ科)	ルリタテハ		
		ヒオドシチョウ 福岡県準絶滅危惧		
	ジャノメチョウ科	クロコノマチョウ		
		クロヒカゲ		
		ヒメジャノメ		
		コジャノメ		
	シャクガ科	ウメエダシャク		
		ユウマダラエダシャク		
	ミノガ科	チャミノガ		
		シバミノガ		
	イラガ科	ヒロヘリアオイラガ		
	ドクガ科	チャドクガ		
		ドクガ		
	ヤガ科	フクラスズメ		
		ハグルマトモエ		
		アケビコノハ		
	ヤマメガ科	ホシホウジャク		
		オオスカシバ		
	ヤママユガ科	クスサン		
	マダラガ科	サツマニシキ		
イボタガ科	イボタガ			
トンボ目	イトトンボ科	アオモンイトトンボ		
		ベニイトトンボ 環境省絶滅危惧 類		
	アオイトトンボ科	アオイトトンボ		
		ホソミオツネトンボ		
	カワトンボ科	ニシカワトンボ		
	サナエトンボ科	ヤマサナエ		
		ダイワンウチヤンマ		
	トンボ科	コシアキトンボ		
ハラビロトンボ				
小計			25種	5種

【昆虫類】3

目名	科名	和名	2008年 今回調査	2001年
(トンボ目)	(トンボ科)	シオカラトンボ		
		オオシオカラトンボ		
		ウズバキトンボ		
		マユタテアカネ		
		チョウトンボ		
		ノシメトンボ		
	ヤンマ科	カトリヤンマ		
コウチュウ目	ハムシ科	クロウリハムシ		
		ウリハムシ		
	コガネムシ科	アシナガコガネの一種		
		アオハナムグリ		
		カナブン		
		シラホシハナムグ		
		クロカナブン		
	テントウムシ科	ナナホシテントウ		
		ナミテントウ		
	カミキリモドキ科	カトウカミキリモドキ		
	ハンミョウ科	ハンミョウ		
		ニワハンミョウ		
		ヒメハンミョウ		
	ホソクビゴムシ科	ミイデラゴミムシ		
	ハネカクシ科	アオバアリガタハネカクシ		
	エンマムシ科	ルリエンマムシ		
	センチコガネ科	センチコガネ		
	ゴミムシダマシ科	キマワリ		
	ホタル科	ヘイケボタル		
	カメムシ目	カメムシ科	アオクサカメムシ	
クサギカメムシ				
ハゴロモ科		アオバハゴロモ		
サシガメ科		ヨコヅナサシガメ		
マキバサシガメ科		ハネナガマキバサシガメ		
小計			28種	4種

【昆虫類】4

目名	科名	和名	2008年 今回調査	2001年
(カメムシ目)	ホソヘリカメムシ科	ホソヘリカメムシ		
	セミ科	ツクツクボウシ		
		ハルゼミ 福岡県準絶滅危惧		
	タイコウチ科	ミズカマキリ 福岡県準絶滅危惧		
	ツチカメムシ科	ベニツチカメムシ 福岡県準絶滅危惧		
ハチ目	ミツバチ科	ニホンミツバチ		
	コハナバチ科	トラマルハナバチ		
	アリ科	アメイロアリ		
	スズメバチ科	セグロアシナガバチ		
		コガタスズメバチ		
ハエ目	ムシヒキアブ科	シオヤアブ		
	アシナガバエ科	マダラアシナガバエ		
	ヒラタアブ科	ホソヒラタアブ		
	ハナアブ科	ハナアブ		
	クロバエ科	キンバエ		
	ショウジョウバエ科	ショウジョウバエ		
	カ科	ヒトスジシマカ		
	ニクバエ科	センチニクバエ		
アカミカゲロウ目	ウスバカゲロウ科	ウスバカゲロウ		
ゴキブリ目	ゴキブリ科	クロゴキブリ		
	チャバネゴキブリ科	モリチャバネゴキブリ		
バッタ目	バッタ科	トノサマバッタ		
		ショウリョウバッタ		
		ショウリョウバッタモドキ		
		イボバッタ		
	オンブバッタ科	オンブバッタ		
	イナゴ科	ツチイナゴ		
	コオロギ科	エンマコオロギ		
		コガタコオロギ		
小計			26種	3種

【昆虫類】5

目名	科名	和名	2008年 今回調査	2001年
(バッタ目)	キリギリス科	キリギリス		
		クビキリギリス		
		ホシササキリ		
		ツコムシ		
カマキリ目	カマキリ科	ハラビロカマキリ		
		オオカマキリ		
	ヒメカマキリ科	ヒメカマキリ		
小計			7種	0種
合計			10目 58科 115種	4目 12科 14種

2001年：大牟田市「大牟田市自然環境調査報告書」(1目2科2種)

【爬虫類】

目名	科名	和名	2008年 今回調査	2001年
カメ目	ヌマガメ科	アカミガメ		
有鱗目	カナヘビ科	カナヘビ		
	クサリヘビ科	ニホンマムシ		
	ナミヘビ科	ヤマカガシ		
合計			2目 2科 2種	1目 2科 2種

2001年：大牟田市「大牟田市自然環境調査報告書」(2目2科2種)

【両生類】

目名	科名	和名	2008年 今回調査	2001年
カエル目	アカガエル科	ニホンアカガエル 福岡県絶滅危惧類		
		ヌマガエル		
		ウシガエル		
		アマガエル		
サンショウウオ目	サンショウウオ科	カスミサンショウウオ 環境省絶滅危惧類 福岡県絶滅危惧類		
有尾目	イモリ科	イモリ		
合計			1目 1科 4種	2目 2科 2種

3 鳥類の補足調査の追加資料

福岡県において、甘木山の鳥類確認種調査を行ったものを、補足調査として取りまとめたもの。

【日 時】平成 20 年 7 月 20 日（日） 8 時 30 分～10 時 30 分【天 気】晴れ

目 名	科 名	和 名	春季及び秋季調査 で確認された種	新規に確認 された種
ハト目	ハト科	キジバト		
キツツキ目	キツツキ科	コゲラ		
スズメ目	ツバメ科	ツバメ		
	ヒヨドリ科	ヒヨドリ		
	ウグイス科	ウグイス		
	シジュウカラ科	シジュウカラ		
	メジロ科	メジロ		
	ホオジロ科	ホオジロ		
	アトリ科	カワラヒワ		
	ハタオリドリ科	スズメ		
	カラス科	ハシブトガラス		
	ツグミ科	ルリビタキ		
合計 3 目 12 科 12 種				

【日 時】平成 20 年 11 月 9 日（日） 8 時 00 分～10 時 00 分【天 気】曇り

目 名	科 名	和 名	春季及び秋季調査 で確認された種	新規に確認 された種
カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ		
コウノトリ目	サギ科	ダイサギ		
カモ目	カモ科	カルガモ		
		コガモ		
ハト目	ハト科	キジバト		
キツツキ目	キツツキ科	コゲラ		
スズメ目	ヒヨドリ科	ヒヨドリ		
	チメドリ科	ソウシチョウ		
	ウグイス科	ウグイス		
	エナガ科	エナガ		
	シジュウカラ科	シジュウカラ		

前頁より

目名	科名	和名	春季及び秋季調査 で確認された種	新規に確認 された種
(スズメ目)	(シジュウカラ科)	ヤマガラ		
	メジロ科	メジロ		
	ホオジロ科	ホオジロ		
		ミヤマホオジロ		
	アトリ科	イカル		
	カラス科	ハシブトガラス		
		ハシボソガラス		
	ツグミ科	シロハラ		
		ツグミ		
		ジョウビタキ		
モズ科	モズ			
合計 6目 16科 22種				

【日 時】平成 21 年 2 月 8 日 (日) 8 時 00 分 ~ 10 時 00 分 【天 気】晴れ

目名	科名	和名	春季及び秋季調査 で確認された種	新規に確認 された種
コウノトリ目	サギ科	ダイサギ		
ハト目	ハト科	キジバト		
キツツキ目	キツツキ科	コゲラ		
スズメ目	ヒヨドリ科	ヒヨドリ		
	エナガ科	エナガ		
	シジュウカラ科	ヤマガラ		
	メジロ科	メジロ		
	ホオジロ科	ホオジロ		
	アトリ科	カワラヒワ		
		イカル		
		アオジ		
	ハタオリドリ科	スズメ		
	カラス科	カササギ		
ハシブトガラス				
ハシボソガラス				

前頁より

目名	科名	和名	春季及び秋季調査 で確認された種	新規に確認 された種
(スズメ目)	スズメ科	シロハラ		
	サンショウクイ科	リュウキュウサンショウクイ		
	ツグミ科	ルリビタキ		
		ジョウビタキ		
合計 4目 14科 19種				